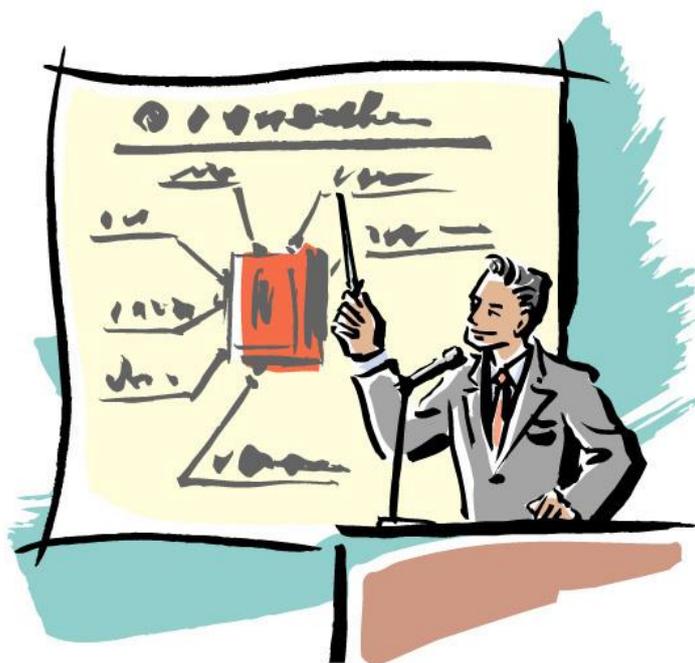


令和2年度

# 調布市決算概要

(財政の現状と今後の課題等に関する白書)

◆健全化判断比率等の概要含む



令和3年8月

調布市

本概要は、**市民と議会、行政**がより一層財政情報の共有化を推進するため、一般会計等の決算内容や財政指標から見た分析などを財政の現状と今後の課題等に関する白書として整理・編集し、できるだけ見やすく、わかりやすくを基本に作成しています。

調布市の財政を分析するための『入門編（主要な経費の支出内容等）』のほか、『決算概要（推移等）』・『当初予算から最終予算までの過程』・『歳入・歳出決算の概要』、各種財政指標から見た財政の現状など、他の自治体比較や分析・検証を加えながら、改善が必要な要因を分析するとともに、財政の健全性の維持・向上に向けた今後の取組をとりまとめています。※資料編には市制施行からの決算額等を掲載しています。

## Contents

### I 決算概要（一般会計） 1

1	決算の状況	2
2	決算の推移	2

### II 当初予算以後（一般会計） 3

1	当初予算	3
2	補正予算第1号	4
3	補正予算第2号	4
4	補正予算第3号	5
5	補正予算第4号	6
6	補正予算第5号	6
7	補正予算第6号	7
8	補正予算第7号	8
9	最終予算額	10

### III 執行管理（一般会計等） 11

<b>参考</b>	令和3年度における 前年度繰越金活用計画	12
-----------	-------------------------	----

### IV 決算内容（一般会計） 14

#### I 歳入

1	歳入決算	14
	ア 歳入決算の状況	
	イ 歳入決算額の推移と歳入決算額 に占める市税収入の推移	15
2	財源区分別決算	16
	ア 一般財源・特定財源、 自主財源・依存財源の状況	
3	市税	17
	ア 市税の状況	
	イ 市税収入の推移	
	ウ 他団体比較	18
4	譲与税・交付金	19
5	市債	22
	ア 市債充当事業及び借入額	
	イ 市債残高の推移	23
	ウ 他団体比較	24
6	基金	25
	ア 基金充当事業	
	イ 基金の状況	26
	ウ 基金残高の推移	
	エ 他団体比較	27

#### I 歳入つづき

7	使用料・手数料	28
	ア 使用料・手数料の状況	
8	国・都支出金	29
	ア 国・都支出金の状況	
	イ 他団体比較	30

#### II 歳出

1	目的別決算	31
	ア 目的別決算の状況 ～新型コロナウイルス感染症への対応～	
	イ 目的別決算の推移	32
	ウ 市民1人当たりの還元額	33
2	性質別決算	34
	ア 性質別決算の状況	
3	節別決算	36
	ア 節別増減要因の状況	
	イ 節別決算の推移・比較	38
4	投資的経費	40
	ア 主な投資的経費の状況	
5	主な経常的経費の推移	41
	○生活保護費	42
	○高齢者福祉費	43
	○児童福祉費	44
	○国民健康保険事業	45
	○介護保険事業	46
6	その他	47
	～行革プラン2019の取組・実績～	

<b>参考</b>	債権管理	49
-----------	------	----



## V 分析編に入る前に（一般会計） 51

### I 入門編

（簡単にわかる調布市財政の中身）

- 1 「財政」ってなに！？ 51
- 2 調布市に入ってくるお金と  
出ていくお金 52
- 3 主要な経費の支出内容 53

### II 実践編（予算と決算のしくみ） 61

## VI 分析編（財政分析：普通会計） 63

- 1 決算収支の状況 63
- 2 決算収支の推移 63
- 3 歳入分析 64
  - ア 歳入（財源区分別）の状況
- 4 歳出（性質別）分析① 65
  - ア 歳出性質別の状況
  - イ 他団体比較 66
- 5 歳出（目的別）分析② 67
  - ア 目的別決算の状況
  - イ 市民1人当たり目的別決算額
- 6 歳出（経常・臨時区分）分析③ 68
  - ア 歳出（経常的経費・臨時的経費）  
の状況
- 7 財政指標 69
  - ア 経常収支比率
  - イ 公債費負担比率 71
  - ウ その他の指標 72
  - エ 将来にわたる財政負担 73
- 8 他の自治体との比較 75
  - ア 類似団体の状況
  - イ 類似団体人口1人当たりの状況
  - ウ 類似団体平均値の比較  
（1人当たり） 76
  - エ 都内26市の財政指標等の順位
- 9 地方交付税 77
  - ア 算定結果の内容
  - イ 不交付団体の状況
  - ウ 交付団体の状況

## VII 財政情報の提供（全会計共通） 78

- 1 財政情報の提供 78
- 2 財政に関する資料 78



みんなが笑顔でつながる・

ぬくもりと輝きのまち調布

## VIII 今後の取組（全会計共通） 79

- 1 今後の財政需要とその対応 79
- 2 財政の健全性維持 80
  - ア 計画的行財政運営の推進
  - イ 後年度負担への対応 84
- 3 公共建築物の維持保全 85
  - ア 公共建築物の維持保全
- 4 財政運営の自律性向上 86
  - ア 国・都の地方財政改革等への対応 87
  - イ 予算編成方式の改善
  - ウ 財政規律の向上
  - エ その他
- 5 財政規律ガイドラインから見た決算  
数値 88

## IX 各特別会計決算概要 96

- 1 国民健康保険事業特別会計 96
- 2 用地特別会計 97
- 3 下水道事業会計 99
- 4 介護保険事業特別会計 102
- 5 後期高齢者医療特別会計 103

## X 令和2年度決算概要資料 105

- 令和2年度予算に係る通知等 106
- 令和2年度決算一般会計・普通会計  
データ等 132

## XI 健全化判断比率等の概要 208

- ◇ 健全化判断比率（4指標）等の概要 209
- ◇ 用語説明と令和2年度健全化判断比率等 211
- ◇ 制度の解説等 217

## 財政用語の解説

232

### 〔本概要について〕

- 1 数値については、各項目について百万円単位、表示単位未満四捨五入を基本としていますので、合計値が合わない場合があります。  
また、百万円未満の数値や百万円単位では十分な表現ができない項目、内容については、小数点表示または千円単位で表示しています。
- 2 基本計画事業の実績等については、「令和2年度決算に係る主要な施策の成果に関する説明書」を御参照ください。

# I 決算概要（一般会計）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、国や東京都の取組とも連動しながら、「感染症拡大防止に向けた取組」「市民生活及び子どもたちへの支援」「地域経済への支援」の3つの緊急対応の取組を実施するとともに、市政の第一の責務である市民生活支援等に継続的に取り組みました。また、感染症対策をはじめ、年度途中における追加財政需要や過不足調整、前年度繰越金活用計画に基づく基金積立てなど、計7回の補正により、319億1000万円余を追加しました。

前年度からの繰越事業費繰越額である8億7000万円余を合計した最終予算額では、1257億7000万円余と、前年度と比較して272億1000万円余の増となりました。

歳入歳出決算については、過去最高額となり、歳入総額は、1264億8000万円余で、前年度と比較して、287億1000万円余（29.4%）の増となりました。

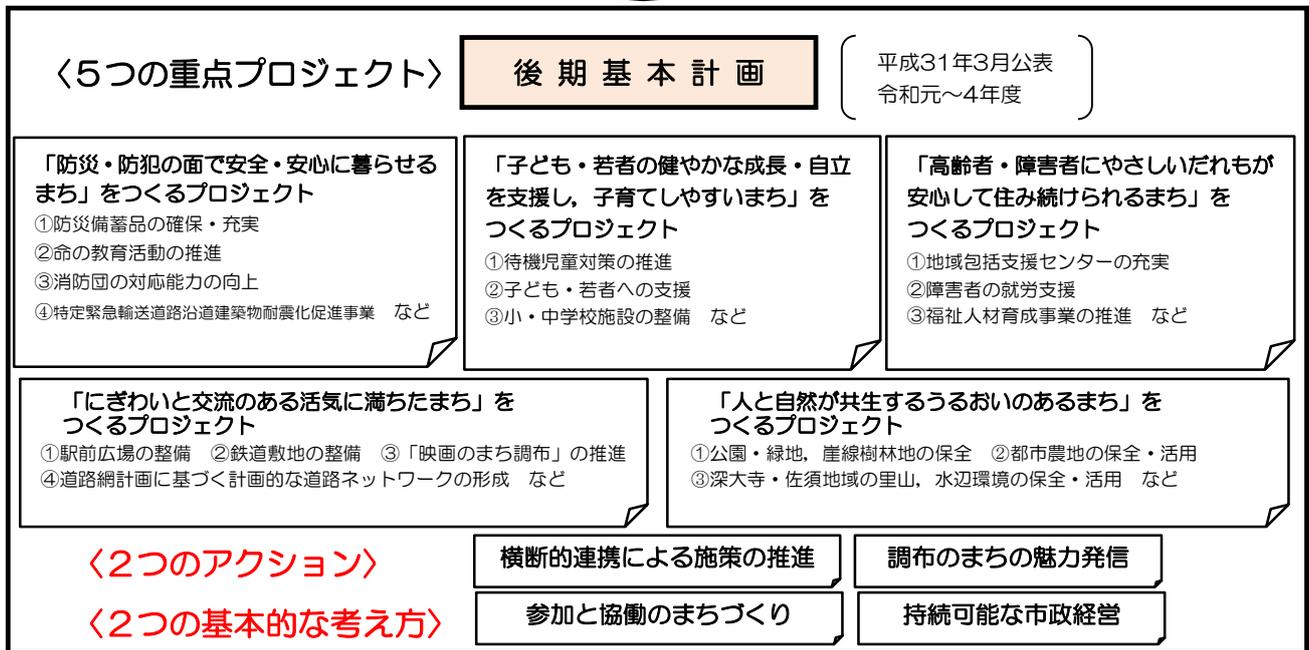
歳入の特徴点としては、市税収入は、一部法人の事業年度変更に伴う法人市民税の増要因がなくなったことなどにより、前年度より減となりましたが、特別定額給付金などコロナ関連の国庫支出金が大幅に増となりました。

一方、歳出総額は、1206億6000万円余で、前年度と比較して、263億7000万円余（28.0%）の増となりました。主な特徴点としては、調布駅前広場整備費や市街地再開事業関連道路に係る用地取得費の減などがありましたが、特別定額給付金の皆増や、プレミアム付商品券事業費の増に伴い大幅に増となりました。

歳入歳出差引額（形式収支）は58億1000万円余、翌年度への繰越額4億7000万円余を除く実質収支は53億4000万円余となりました。前年度の実質収支額との比較である単年度収支は23億3000万円余のプラス、財政調整基金の積立額と取崩額を加味した実質単年度収支は市税増収分を財政調整基金に積み立てたことから25億7000万円余のプラスとなり、単年度収支は3年ぶりにプラス、実質単年度収支は2年連続でプラスとなりました。

## 基本構想『みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布』

平成24年6月議決  
平成25～令和4年度



市政の経営方針・予算編成方針

令和2年度 施策・予算

- 一般会計7回の補正
- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 市民生活支援等の継続的取組
- 財政規律がドライバーの進行管理

1 令和2年度一般会計決算の状況 (単位：百万円，%)

区 分	2年度	元年度	増減額	増減率
歳入決算額	126,483	97,771	28,712	29.4
収 入 率	100.6	99.2	—	1.4
歳出決算額	120,667	94,293	26,375	28.0
執 行 率	95.9	95.7	—	0.2
歳入歳出差引額	5,815	3,478	2,337	67.2
繰越すべき財源	470	466	4	0.9
実質収支	5,345	3,012	2,333	77.4
単年度収支	2,333	▲813	3,146	—
実質単年度収支	2,570	526	2,044	—

(参考) 全会計決算の状況 (単位：百万円)

区 分	一般会計	特別会計					公営企業会計		
		国民健康保険	用地	介護	後期高齢	合計	下水道		
歳入決算額	126,483	20,315	841	16,396	5,311	42,862	区分	収益的収支	資本的収支
歳出決算額	120,667	20,285	841	15,951	5,259	42,336	収入	4,547	531
歳入歳出差引額	5,815	30	0	445	52	527	支出	4,528	855
繰越すべき財源	470	0	0	0	0	0	※特例的収支は含んでいません。		
実質収支	5,345	30	0	445	52	527	※収益的収支及び資本的収支は消費税込の金額です。		

※表示単位未満四捨五入をしています。総額が百万円以下の場合、小数点を表示しています。  
 ※下水道事業は令和2年度から公営企業会計に移行しています。

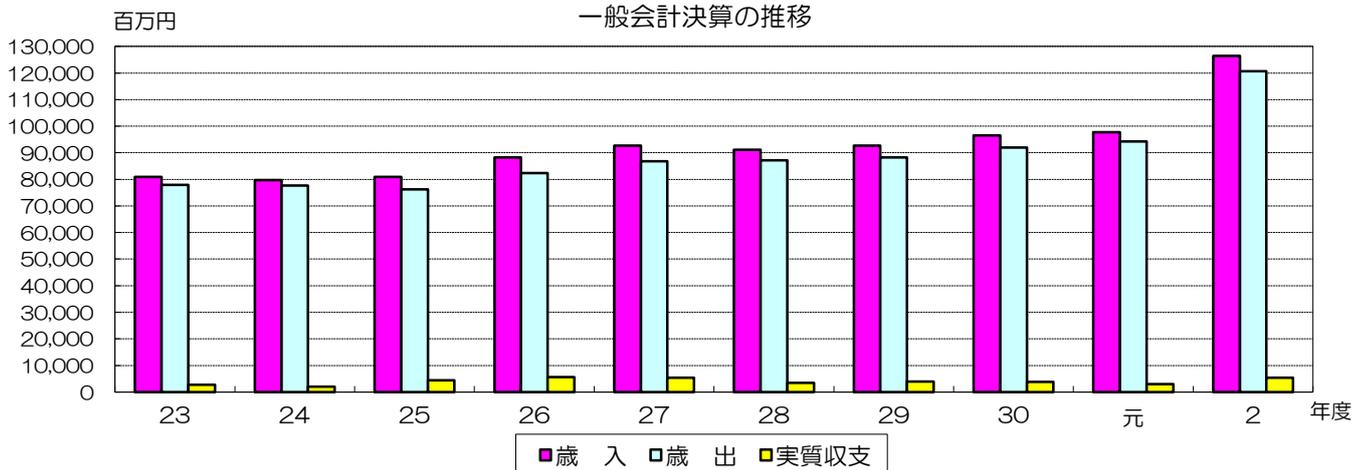
2 一般会計決算の推移 (単位：百万円，%)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
歳入	79,765	79,285	80,899	88,258	92,644	91,116	92,689	96,577	97,771	126,483
増減率	▲1.5	▲0.6	2.0	9.1	5.0	▲1.6	1.7	4.2	1.2	29.4
(参考) 収入率	98.9	98.3	101.9	102.9	100.8	99.1	100.2	100.1	99.2	100.6
歳出	77,623	77,163	76,222	82,330	86,839	87,158	88,211	91,971	94,293	120,667
増減率	▲0.4	▲0.6	▲1.2	8.0	5.5	0.4	1.2	4.3	2.5	28.0
(参考) 執行率	96.2	95.7	96.0	96.0	94.5	94.8	95.3	95.4	95.7	95.9
歳入歳出差引	2,143	2,122	4,677	5,928	5,804	3,958	4,477	4,606	3,478	5,815
繰越財源	143	214	270	317	383	486	496	781	466	470
実質収支	2,000	1,908	4,407	5,611	5,421	3,473	3,981	3,825	3,012	5,345
単年度収支	▲776	▲92	2,499	1,204	▲190	▲1,949	508	▲156	▲813	2,333
実質単年度収支	▲780	▲748	2,091	2,304	700	▲2,101	1,076	▲2,256	526	2,570

(参考) 収入率：最終予算額に対する収入額の割合。

(参考) 執行率：最終予算額に対する支出額の割合。

(参考) 実質単年度収支＝単年度収支＋財政調整基金積立額＋地方債繰上償還額－財政調整基金取崩し額



## Ⅱ 当初予算以後（一般会計）

令和2年度一般会計は、929億9000万円でスタートし、以後、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、年度途中の追加財政需要、事業の進捗状況による過不足調整、前年度繰越金活用計画に基づく基金積立て、繰越明許費、債務負担行為の変更等、合計7回の補正予算を編成し、補正総額としては319億1000万円余、これに前年度からの繰越事業費繰越額8億7000万円余を加えた令和2年度の最終予算額は、1257億7000万円余となりました。  
※前年度と比較して272億1000万円余の増となりました。

### 1 当初予算（令和2年2月28日提出、3月24日議決）

令和2年度当初予算は、歳入では、根幹となる市税において、納税義務者数の増に伴う個人市民税の増や固定資産税の増などを見込んだ一方、一部法人の増要因がなくなったことや税収の更なる一部国税化の影響による法人市民税の減などを見込み、市税総体としては減を見込みました。また、各種譲与税・交付金では、地方消費税率の引き上げによる地方消費税交付金の増などにより、総体で増を見込みました。歳出では、後期基本計画の2年次目として、各施策、事業を効果的に推進するとともに、市民の安全・安心の確保と市民生活支援への継続的な取組など、現行市民サービス水準の維持を目指し、限られた財源の重点配分を行いました。

（単位：百万円，％）

区分	2年度	元年度	増減額	構成比	増減率
<b>歳入</b>	<b>92,990</b>	<b>91,810</b>	<b>1,180</b>	<b>100.0</b>	<b>1.3</b>
5 市 税	45,170	46,778	▲ 1,608	48.6	▲ 3.4
10 地 方 譲 与 税	377	338	40	0.4	11.7
15 利 子 割 交 付 金	90	100	▲ 10	0.1	▲ 10.0
16 配 当 割 交 付 金	366	346	20	0.4	5.8
17 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	300	320	▲ 20	0.3	▲ 6.3
18 法 人 事 業 税 交 付 金	302	0	302	0.3	皆増
19 地 方 消 費 税 交 付 金	5,230	4,310	920	5.6	21.3
20 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	9	9	0	0.0	0.0
30 自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	108	▲ 108	0.0	皆減
31 環 境 性 能 割 交 付 金	127	39	88	0.1	225.6
33 地 方 特 例 交 付 金	249	249	0	0.3	0.0
35 地 方 交 付 税	60	60	0	0.1	0.0
40 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	24	24	0	0.0	0.0
45 分 担 金 及 び 負 担 金	1,747	2,443	▲ 696	1.9	▲ 28.5
50 使 用 料 及 び 手 数 料	2,466	2,499	▲ 32	2.7	▲ 1.3
55 国 庫 支 出 金	15,792	14,160	1,632	17.0	11.5
60 都 支 出 金	13,473	12,768	705	14.5	5.5
65 財 産 収 入	102	115	▲ 13	0.1	▲ 11.7
70 寄 附 金	0.002	0.002	0	0.0	0.0
75 繰 入 金	2,231	2,437	▲ 206	2.4	▲ 8.4
80 繰 越 金	500	500	0	0.5	0.0
85 諸 収 入	568	577	▲ 9	0.6	▲ 1.6
90 市 債	3,806	3,630	176	4.1	4.8

区分	2年度	元年度	増減額	構成比	増減率
<b>歳出</b>	<b>92,990</b>	<b>91,810</b>	<b>1,180</b>	<b>100.0</b>	<b>1.3</b>
5 議 会 費	510	511	▲ 1	0.5	▲ 0.1
10 総 務 費	11,112	11,835	▲ 723	11.9	▲ 6.1
15 民 生 費	48,544	47,005	1,539	52.2	3.3
20 衛 生 費	5,567	5,534	33	6.0	0.6
25 労 働 費	47	53	▲ 6	0.0	▲ 11.5
30 農 業 費	140	116	25	0.2	21.3
35 商 工 費	429	456	▲ 27	0.5	▲ 5.8
40 土 木 費	9,535	10,617	▲ 1,083	10.3	▲ 10.2
45 消 防 費	2,973	2,835	138	3.2	4.9
50 教 育 費	10,465	9,320	1,145	11.3	12.3
60 公 債 費	3,568	3,428	140	3.8	4.1
65 諸 支 出 金	0.2	0.2	0	0.0	0.0
90 予 備 費	100	100	0	0.1	0.0

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

## 2 補正予算第1号（令和2年5月8日専決，5月15日承認）

補正予算第1号は歳入歳出予算の補正で構成し，新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国の緊急経済対策である特別定額給付金給付事業及び子育て世帯臨時特別給付金給付事業の事務費のほか，市独自の支援事業として子育て家庭の負担軽減や市内事業者の支援につなげる「調布っ子応援プロジェクト」の事務費に要する経費を補正しました。その財源としては，歳出と連動した国・都支出金で構成しました。

第1号補正予算の歳入歳出補正予算額は，2億5000万円余を追加しました。

（単位：百万円，％）

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 入</b>	<b>254</b>	<b>93,244</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>254</b>
55 国 庫 支 出 金	240	16,032	17.2	15,792	240
60 都 支 出 金	14	13,487	14.5	13,473	14

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 出</b>	<b>254</b>	<b>93,244</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>254</b>
10 総 務 費	230	11,342	12.2	11,112	230
15 民 生 費	10	48,554	52.1	48,544	10
35 商 工 費	14	443	0.5	429	14

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

## 3 補正予算第2号（令和2年5月15日提出，5月15日議決）

補正予算第2号は歳入歳出予算の補正で構成し，特別定額給付金及び子育て世帯臨時特別給付金，「調布っ子応援プロジェクト」の事業費のほか，子育て世帯の国民健康保険税減免に係る経費，新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の確保に向けた医療機関への支援費，新型コロナウイルス感染症対策の今後の支出を見据えた予備費等を補正しました。その財源としては，国・都支出金，寄附金，繰入金で構成しました。

第2号補正予算の歳入歳出補正予算額は，243億2000万円余を追加しました。

（単位：百万円，％）

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 入</b>	<b>24,325</b>	<b>117,569</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>24,579</b>
55 国 庫 支 出 金	24,017	40,048	34.1	15,792	24,257
60 都 支 出 金	166	13,653	11.6	13,473	180
70 寄 附 金	86	86	0.1	0,002	86
75 繰 入 金	57	2,288	1.9	2,231	57

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 出</b>	<b>24,325</b>	<b>117,569</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>24,579</b>
10 総 務 費	23,770	35,112	29.9	11,112	24,000
15 民 生 費	452	49,006	41.7	48,544	462
20 衛 生 費	53	5,619	4.8	5,567	53
90 予 備 費	50	150	0.1	100	50

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

#### 4 補正予算第3号（令和2年6月5日提出，6月24日議決）

補正予算第3号は，歳入歳出予算，地方債の補正で構成しています。

歳入歳出予算補正の歳出では，新型コロナウイルス感染症緊急対応の3つの柱の取組を行い，「調布っ子応援プロジェクト第2弾」となるひとり親家庭応援給付金の支給，生活困窮者の方への支援強化，市内小・中学校の全児童・生徒を対象に1人1台のタブレット端末の整備に要する経費のほか，中小企業事業資金融資の制度拡充，小・中学校における感染症対策に要する経費などを補正しました。また，併せて，新型コロナウイルス感染症拡大に伴う工事の延期による工事費の減額，新型コロナウイルス感染症対策基金への積立て，予備費の増額，その他不足額等を補正しました。その財源としては，歳出と連動した国・都支出金，寄附金，繰入金，市債で構成しました。

地方債補正では，事業の延期などに伴う合計2事業の借入限度額の変更を行いました。

第3号補正予算の歳入歳出補正予算額は，2億7000万円余を追加しました。

（単位：百万円，％）

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 入</b>	<b>275</b>	<b>117,844</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>24,854</b>
55 国 庫 支 出 金	250	40,298	34.2	15,792	24,506
60 都 支 出 金	44	13,697	11.6	13,473	224
70 寄 附 金	48	134	0.1	0,002	134
75 繰 入 金	132	2,420	2.1	2,231	189
90 市 債	▲199	3,607	3.1	3,806	▲199

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 出</b>	<b>275</b>	<b>117,844</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>24,854</b>
5 議 会 費	▲18	492	0.4	510	▲18
10 総 務 費	147	35,259	29.9	11,112	24,147
15 民 生 費	208	49,214	41.8	48,544	670
20 衛 生 費	35	5,655	4.8	5,567	88
35 商 工 費	59	502	0.4	429	73
50 教 育 費	▲206	10,259	8.7	10,465	▲206
90 予 備 費	50	200	0.2	100	100

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

#### ※ 市債の補正として

（単位：百万円）

事業名	補正前	補正後
ふれあいの家整備事業	90	162
小・中学校校舎等整備事業	1,213	942
計	3,806	3,607

## 5 補正予算第4号（令和2年6月18日提出，6月24日議決）

補正予算第4号は，歳入歳出予算の補正で構成し，新型コロナウイルス感染症緊急対応として，国の補正予算と連動した，ひとり親世帯臨時特別給付金のほか，保育園や学童クラブなどの感染症対策に係る経費，プレミアム付商品券事業費，市内中小企業の新型コロナウイルス感染予防対策経費に対する補助金，小・中学校や幼稚園などの感染症対策に係る経費を補正しました。その財源としては，歳出と連動した国・都支出金，繰入金，諸収入で構成しました。

第4号補正予算の歳入歳出補正予算額は，31億9000万円余を追加しました。

（単位：百万円，％）

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 入</b>	<b>3,196</b>	<b>121,040</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>28,050</b>
55 国 庫 支 出 金	318	40,616	33.6	15,792	24,825
60 都 支 出 金	347	14,044	11.6	13,473	571
75 繰 入 金	531	2,951	2.4	2,231	719
85 諸 収 入	2,000	2,568	2.1	568	2,000

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 出</b>	<b>3,196</b>	<b>121,040</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>28,050</b>
15 民 生 費	370	49,584	41.0	48,544	1,040
35 商 工 費	2,750	3,252	2.7	429	2,823
50 教 育 費	76	10,335	8.5	10,465	▲ 130

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

## 6 補正予算第5号（令和2年9月2日提出，9月23日議決）

補正予算第5号は，歳入歳出予算の補正で構成し，前年度繰越金活用計画に基づく財政基盤の強化（各種基金積立金）のほか，新型コロナウイルス感染症緊急対応の3つの柱の取組として，PCR検査センター運営費や医療体制整備支援費などの感染症拡大防止に向けた取組，児童・生徒のタブレット端末整備に要する経費などのほか，売上の減少した市内事業所に対する家賃支援事業補助金やスクラッチカード事業の拡充などに要する経費を補正しました。また，併せて，市内事業者受注機会確保にもつなげる公共工事の前倒し発注や国・都補助金，寄附金を活用した事業に要する経費等の補正を行いました。その財源としては，使用料及び手数料，歳出と連動した国・都支出金，寄附金，繰入金，繰越金で構成しました。

第5号補正予算の歳入歳出補正予算額は，28億8000万円余を追加しました。

（単位：百万円，％）

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 入</b>	<b>2,881</b>	<b>123,921</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>30,931</b>
50 使用料及び手数料	13	2,480	2.0	2,466	13
55 国 庫 支 出 金	994	41,611	33.6	15,792	25,819
60 都 支 出 金	55	14,099	11.4	13,473	626
70 寄 附 金	6	140	0.1	0,002	140
75 繰 入 金	32	2,982	2.4	2,231	751
80 繰 越 金	1,780	2,280	1.8	500	1,780

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 出</b>	<b>2,881</b>	<b>123,921</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>30,931</b>
10 総 務 費	1,666	36,925	29.8	11,112	25,813
15 民 生 費	180	49,764	40.2	48,544	1,219
20 衛 生 費	127	5,781	4.7	5,567	215
35 商 工 費	426	3,678	3.0	429	3,249
40 土 木 費	241	9,776	7.9	9,535	241
50 教 育 費	242	10,577	8.5	10,465	112

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

7 補正予算第6号（令和2年11月30日提出，12月17日議決）

補正予算第6号は，歳入歳出予算，繰越明許費及び地方債の補正で構成しています。

歳入歳出予算補正の歳出では，新型コロナウイルス感染症対策に係る経費として，高齢者・障害者施設のPCR検査事業費の補助など感染症拡大防止に向けた取組に要する経費や指定管理者の収入減少に対する支援費などを補正しました。また，道路維持補修工事など市内事業者受注機会確保にもつなげる公共工事の前倒し発注に要する経費，マイナンバーカード推進事業など国・都補助金，寄附金を活用した事業の実施に要する経費，中学校隣接地の用地取得など，その他追加財政需要等への対応に要する経費を補正しました。その財源としては，歳出と連動した国・都支出金，寄附金，繰入金，繰越金，市債で構成しました。

繰越明許費では，年度内の完了が見込めない5事業を設定しました。また，地方債補正では，中学校隣接地の用地取得に伴う借入限度額の変更を行いました。

第6号補正予算の歳入歳出補正予算額は，7億9000万円余を追加しました。

（単位：百万円，％）

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 入</b>	<b>797</b>	<b>124,718</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>31,728</b>
55 国 庫 支 出 金	105	41,715	33.4	15,792	25,923
60 都 支 出 金	198	14,297	11.5	13,473	824
70 寄 附 金	32	173	0.1	0,002	173
75 繰 入 金	32	3,014	2.4	2,231	783
80 繰 越 金	205	2,485	2.0	500	1,985
90 市 債	226	3,833	3.1	3,806	27

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 出</b>	<b>797</b>	<b>124,718</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>31,728</b>
5 議 会 費	2	495	0.4	510	▲ 16
10 総 務 費	307	37,232	29.9	11,112	26,120
15 民 生 費	193	49,957	40.1	48,544	1,413
20 衛 生 費	112	5,894	4.7	5,567	327
25 労 働 費	13	60	0.0	47	13
30 農 業 費	3	144	0.1	140	3
35 商 工 費	▲ 28	3,650	2.9	429	3,221
40 土 木 費	116	9,892	7.9	9,535	358
45 消 防 費	44	3,017	2.4	2,973	44
50 教 育 費	32	10,609	8.5	10,465	144

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

※ 繰越明許費の補正として

（単位：百万円）

款	項	事業名	金額
40 土木費	10 道路橋りょう費	道路総合管理事業費	22
		橋りょう整備事業費	99
45 消防費	5 消防費	消防施設設計費	10
		防火貯水槽撤去事業費	21
50 教育費	10 小学校費	小学校施設改修事業費	35

※ 市債の補正として

（単位：百万円）

事業名	補正前	補正後
小・中学校校舎等整備事業	942	1,168
計	3,607	3,833

## 8 補正予算第7号（令和3年3月1日提出，3月4日議決）

補正予算第7号は，歳入歳出予算，繰越明許費，債務負担行為及び地方債の補正で構成しています。

歳入歳出予算補正の歳出では，新型コロナウイルスワクチン接種事業費のほか，市内事業者の受注機会確保につなげる公共工事の前倒し発注，年度末を見据えた過不足額の調整，契約差金等の不用見込額の減額精査分，各種基金積立て，国・都支出金の過年度清算返還金などに要する経費を補正しました。一方，歳入では，法人市民税の増のほか，地方消費税交付金をはじめとする各種交付金の減，歳出と連動した国・都支出金等の特定財源の調整，年度末における市債の精査などの内容を補正しました。

繰越明許費では，公共工事前倒し対応を含む22事業を設定しました。

債務負担行為補正では，多摩川市民広場整備事業における，限度額の変更を行いました。

地方債補正では，契約額や国・都支出金の確定，事業の繰越などに伴う合計3事業の借入限度額の変更を行いました。

第7号補正予算の歳入歳出補正予算額は，1億8000万円余を追加しました。

（単位：百万円，％）

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 入</b>	<b>188</b>	<b>124,906</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>31,916</b>
5 市 税	800	45,970	36.8	45,170	800
15 利 子 割 交 付 金	▲ 20	70	0.1	90	▲ 20
16 配 当 割 交 付 金	▲ 30	336	0.3	366	▲ 30
18 法 人 事 業 税 交 付 金	▲ 60	242	0.2	302	▲ 60
19 地 方 消 費 税 交 付 金	▲ 580	4,650	3.7	5,230	▲ 580
31 環 境 性 能 割 交 付 金	▲ 60	67	0.1	127	▲ 60
45 分 担 金 及 び 負 担 金	▲ 136	1,611	1.3	1,747	▲ 136
55 国 庫 支 出 金	61	41,776	33.4	15,792	25,984
60 都 支 出 金	▲ 95	14,202	11.4	13,473	729
70 寄 附 金	167	340	0.3	0.002	340
75 繰 入 金	▲ 75	2,939	2.4	2,231	708
80 繰 越 金	528	3,012	2.4	500	2,512
85 諸 収 入	▲ 2	2,566	2.1	568	1,998
90 市 債	▲ 310	3,523	2.8	3,806	▲ 283

区 分	補正額	補正後の額	構成比	当初予算額	増減額
<b>歳 出</b>	<b>188</b>	<b>124,906</b>	<b>100.0</b>	<b>92,990</b>	<b>31,916</b>
10 総 務 費	415	37,646	30.1	11,112	26,535
15 民 生 費	▲ 5	49,952	40.0	48,544	1,408
20 衛 生 費	▲ 50	5,843	4.7	5,567	277
35 商 工 費	▲ 48	3,603	2.9	429	3,174
40 土 木 費	▲ 34	9,858	7.9	9,535	323
45 消 防 費	18	3,035	2.4	2,973	62
50 教 育 費	▲ 107	10,502	8.4	10,465	38

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

※ 繰越明許費の補正として

(単位：百万円)

款	項	事業名	金額
10 総務費	5 総務管理費	市庁舎施設改修事業費	27
	35 生活文化費	ふれあいの家設備改修事業費	9
15 民生費	5 社会福祉費	ふれあい給食室設備改修事業費	6
	10 児童福祉費	子ども家庭支援センター設備改修事業費	5
		児童館施設改修事業費	21
		保育園設備改修事業費	25
20 衛生費	5 保健衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	58
40 土木費	10 道路橋りょう費	飛田給横断歩道橋設備改修事業費	21
		市道南155-4号線整備事業費	35
		市道西111-4号線整備事業費	38
		橋りょう整備事業費	40
		市道南176号線整備事業費	26
	15 都市計画費	都市計画道路3・4・21号線補償費	10
		都市計画道路3・4・26号線補償費	47
		都市計画道路3・4・28号線補償費	46
		地区計画策定事業費	10
		鉄道敷地公園整備事業費	25
	公遊園機能再編検討事業費	4	
50 教育費	10 小学校費	学校保健用消耗品費	10
	15 中学校費	学校保健用消耗品費	4
	25 社会教育費	図書館設備改修事業費	19
	30 保健体育費	大町スポーツ施設設備整備事業費	42

※ 債務負担行為の補正として

(単位：百万円)

事業名	補正前	補正後
多摩川市民広場整備事業 整備工事	126	198

※ 市債の補正として

(単位：百万円)

事業名	補正前	補正後
公遊園等整備事業	146	71
小・中学校校舎等整備事業	1,168	979
スポーツ施設整備事業	188	142
計	3,833	3,523

## 9 最終予算額

令和2年度の一般会計最終予算額は、当初予算に合計7回の補正予算総額319億1000万円余と前年度からの繰越事業費繰越額8億7000万円余を加えた結果、予算規模としては、1257億7000万円余となり、前年度と比較して272億1000万円余の増となりました。

(単位：百万円，%)

区 分	当初予算額	補正予算額	繰越財源額	最終予算額	構成比
<b>歳 入</b>	<b>92,990</b>	<b>31,916</b>	<b>873</b>	<b>125,779</b>	<b>100.0</b>
5 市 税	45,170	800		45,970	36.5
10 地 方 譲 与 税	377	0		377	0.3
15 利 子 割 交 付 金	90	▲ 20		70	0.1
16 配 当 割 交 付 金	366	▲ 30		336	0.3
17 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	300	0		300	0.2
18 法 人 事 業 税 交 付 金	302	▲ 60		242	0.2
19 地 方 消 費 税 交 付 金	5,230	▲ 580		4,650	3.7
20 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	9	0		9	0.0
31 環 境 性 能 割 交 付 金	127	▲ 60		67	0.1
33 地 方 特 例 交 付 金	249	0		249	0.2
35 地 方 交 付 税	60	0		60	0.0
40 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	24	0		24	0.0
45 分 担 金 及 び 負 担 金	1,747	▲ 136		1,611	1.3
50 使 用 料 及 び 手 数 料	2,466	13		2,480	2.0
55 国 庫 支 出 金	15,792	25,984	108	41,884	33.3
60 都 支 出 金	13,473	729	284	14,486	11.5
65 財 産 収 入	102	0		102	0.1
70 寄 附 金	0.002	340		340	0.3
75 繰 入 金	2,231	708		2,939	2.3
80 繰 越 金	500	2,512	466	3,478	2.8
85 諸 収 入	568	1,998		2,566	2.0
90 市 債	3,806	▲ 283	16	3,539	2.8

区 分	当初予算額	補正予算額	繰越財源額	予備費充用	最終予算額	構成比
<b>歳 出</b>	<b>92,990</b>	<b>31,916</b>	<b>873</b>	<b>0</b>	<b>125,779</b>	<b>100.0</b>
5 議 会 費	510	▲ 16			495	0.4
10 総 務 費	11,112	26,535	17	22	37,686	30.0
15 民 生 費	48,544	1,408	134	29	50,114	39.8
20 衛 生 費	5,567	277		51	5,895	4.7
25 労 働 費	47	13			60	0.0
30 農 業 費	140	3			144	0.1
35 商 工 費	429	3,174		10	3,613	2.9
40 土 木 費	9,535	323	557		10,415	8.3
45 消 防 費	2,973	62	142		3,177	2.5
50 教 育 費	10,465	38	23	11	10,537	8.4
60 公 債 費	3,568	0			3,568	2.8
65 諸 支 出 金	0.2	0		0.02	0.2	0.0
90 予 備 費	100	100		▲ 123	77	0.1

※表示単位未満四捨五入しています。百万円未満の場合は小数点表示しています。

(参考) 令和2年度決算における収入率・執行率

収入率 100.6% (収入済額/最終予算額) ※元年度99.2% ・ 執行率 95.9% (支出済額/最終予算額) ※元年度95.7%

他団体事例

区分	調布市	立川市	府中市	三鷹市	町田市	小平市	日野市	西東京市
収入率	100.6%	99.0%	99.9%	96.4%	95.5%	98.3%	99.8%	96.7%
執行率	95.9%	92.8%	97.2%	93.4%	92.9%	94.6%	96.5%	94.2%

### Ⅲ 執行管理（一般会計等）

令和2年度予算の執行に当たり、新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気の悪化が危惧され、市民生活への影響や主要な一般財源の減収が懸念されることを踏まえ、収入確保と経費縮減に努めるよう、全庁職員に方針を示しました。

この方針に基づき、予算化された事務事業のより効果的・効率的な執行に努め、また、支出内容や必要性等を判断し、最小限の予備費の充用や既定予算の流用を行いました。

#### 1 執行方針概要

##### ① 全般的事項

- ・ 今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気の急速な悪化など、市の財政状況について全職員で共通認識を持ち、コスト意識を強く持って、予算執行に努めること。
- ・ 契約事務及び会計事務に当たっては、適正かつ効率的な事務の執行を図ること。また、過去の不適正な会計事務処理を教訓とし、監査委員からの指摘事項を踏まえ、その抜本的な改善方を講ずること。議会及び市民からの意見についても適切な改善方を講ずること。
- ・ まちの将来像実現に向けて掲げた3つの基本姿勢を具現化するための取組である「行革プラン2019」の着実な推進を図ること。
- ・ 地域経済や市民生活の動向を踏まえ、市民生活支援等の継続的取組に適時・適切に対応するとともに、委託契約や直接雇用等で市民雇用の促進を図ること。

##### ② 歳入に関する事項

- ・ 市税等は、収納率の向上に努め、不納欠損等に繋がる収入未済額の縮減を図ること。また、債権全般にわたり、統ルールに基づき、積極的な債権管理の推進を図ること。
- ・ 国・都支出金は、補助対象となる事業等の進捗を適切に管理し、着実な遂行を図るとともに予算額の確保に努めること。
- ・ 補助金等を見込んでいない事業についても、活用の可能性を検討し歳入の確保に努めること。

##### ③ 歳出に関する事項

- ・ 委託料については、事務事業の目的を効率的かつ効果的に達成するため、常に委託仕様や契約方法の見直し、委託事務の必要性を再検証すること。
- ・ 公共施設整備及び公共建築物の維持保全に当たっては、計画的な事業の進捗を図ること。

#### 2 予備費充用<sup>1</sup>・歳出予算の流用<sup>2</sup>（単位：件，千円）

区 分	予備費充用				歳出予算の流用			
	令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
5 議会費					8	1,178	1	932
10 総務費	6	22,458			57	31,632	57	22,013
15 民生費	4	28,584			70	106,563	72	61,775
20 衛生費	7	51,274	7	28,212	37	18,482	26	10,435
25 労働費							1	24
30 農業費							4	1,251
35 商工費	2	9,679	5	9,730	15	1,569	3	6,601
40 土木費			6	8,475	21	105,872	41	31,734
45 消防費			7	22,738	14	20,937	8	15,519
50 教育費	6	11,035	9	55,783	76	113,957	59	48,499
60 公債費					1	12		
65 諸支出金	1	25						
合計	26	123,056	34	124,939	299	400,202	272	198,783

※表示単位未満四捨五入をしています。

<sup>1</sup> 予備費の充用：用途を特定しない経費で、不測の事態等における予算外の支出又は予算超過の支出に充てます。ただし、法令上等の制限があります（自治法 217 条）。

<sup>2</sup> 歳出予算の流用：予算成立後の事情により、予算の効率的使用の観点から、余剰を生ずる見込みの予算を不足する予算に融通すること（自治法 220 条）。各款相互の流用は禁じられていますが、項については予算の定めるところによります。なお、目節については、予算事務規則で定めています。

# 令和3年度における前年度繰越金<sup>1</sup>活用計画

令和2年度の市税収入は、個人市民税における納税義務者一人当たりの課税額の増があったものの、法人市民税においては、一部法人の特殊要因がなくなったことなどにより、前年度と比較して13億1000万円余の減（予算との比較では13億2000万円余の増）の総額472億9000万円余となりました。一般会計の実質収支は53億4000万円余であり（元年度実質収支30億1000万円余）、単年度収支もプラスとなり、市税の増収分等を財政調整基金に積立てたことから、実質単年度収支は25億7000万円余のプラスとなりました。

この実質収支については、感染症拡大の影響が今なお不透明であり、市税など主要な一般財源の複数年次に渡る減収影響が懸念されるとともに、感染症対策のほか公共施設マネジメントや都市基盤整備費などの大きな財政需要も想定されるため、財政調整基金をはじめ、各種基金積立てに優先的に財源配分することとします。

このため、繰越金活用可能額から、国・都支出金等の過年度返還金見込額や、新型コロナウイルス感染症対策のほか、市内事業者の受注機会確保や発注時期の平準化につなげる公共建築物維持保全工事の前倒し想定分などを差し引いた全額を基金に積み立てます。その他の追加財政需要に対しては、厳に抑制することとし、対応が必要な場合は、歳入確保・経費縮減の取組（歳入増額，歳出減額）や財政調整基金からの繰入金等で対応します。

令和2年度決算剰余金(単位：千円)

歳 入		歳 出	
最終予算額	125,779,397	最終予算額	125,779,397
歳入決算額	126,482,529	歳出決算額	120,667,145
収入率	100.56%	執行率	95.94%
歳入比較額 a	703,132	歳出比較額 b	5,112,252

形式収支c(a+b)	5,815,384	標準財政規模	
繰越事業費充当繰越金 d	470,030		50,981,656
実質収支e(c-d)	5,345,354	実質収支比率	10.5%
3年度繰越金予算計上額 f	500,000	予算規模比率	4.2%
3年度実質活用可能額e-f	4,845,354	※2年度 2,512,393	
		※元年度3,325,326	

3年度実質活用可能額 Z 4,845,354

歳入補正見込み		歳出補正見込み	
特別会計繰入金	200,000	追加財政需要額	1,630,000
国民健康保険事業会計	29,000	<支払内容>	
介護保険事業会計（約30%想定）	120,000	国・都支出金等返還金	930,000
後期高齢者医療特別会計	51,000	市内事業者受注機会確保、 コロナ関連等	700,000
合計 A	200,000	合計 B	1,630,000
<b>繰越金優先活用額</b>		<b>Z+A-B</b>	
基金積立用途額	3,415,354		
財政調整基金	1,700,000		令和3年度末想定55.8億円
公共施設整備基金	805,354		令和3年度末想定85.2億円
都市基盤整備事業基金	730,000		令和3年度末想定18.1億円※
子ども・若者基金	60,000		令和3年度末想定2.1億円※
ふるさとのみどり環境を守り育てる基金	120,000		令和3年度末想定17.1億円※

※令和2年度寄附金の積み残し分等を含む

<sup>1</sup> 繰越金とは…N-1年度からN年度に繰り越した金額であり、決算上の純剰余金である純繰越金（次年度の補正財源）と前年度から繰り越された歳出予算の財源に充てるべき繰越金（繰越事業充当の財源）に区分されます。

# ◆ 基金（繰越金活用計画額を加算した令和3年度末残高見込み）

## 1 基金の状況（単位：百万円）

区 分	元年度	2年度			3年度（見込み）		
	残高	積立	取崩し	残高	積立	取崩し	残高
<b>合 計</b>	<b>18,166</b>	<b>2,924</b>	<b>2,714</b>	<b>18,375</b>	<b>3,680</b>	<b>2,692</b>	<b>19,364</b>
財政調整基金	4,940	1,304	1,066	5,177	1,701	1,302	5,577
減債基金	44	0.01	0	44	0.01	0	44
特定目的基金	13,182	1,620	1,648	13,154	1,979	1,390	13,743
公共施設整備基金	8,175	804	687	8,292	911	685	8,518
都市基盤整備事業基金	1,739	235	454	1,519	741	450	1,811
井上欣一社会福祉事業基金	1,157	80	39	1,197	79	41	1,235
国際交流平和基金	96	0.1	6	90	0.3	9	81
子ども・若者基金	209	34	68	175	60	27	208
職員退職手当基金	75	0.0001	0	75	0.02	0	76
ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金	1,731	292	354	1,669	187	144	1,711
新型コロナウイルス感染症対策基金		174	39	136	0.002	33	103

※令和2年度までは決算額、令和3年度は見込額（繰越金活用計画額を加算、利子積立て含む）

※表示単位未満を四捨五入していますので、合計値と合わない場合があります。

## 2 基金の推移（単位：百万円）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
積立額	1,152	1,319	3,397	6,075	4,828	2,845	3,901	3,736	2,924	3,680
財政調整基金	444	572	1,501	1,119	478	1,038	632	1,981	1,304	1,701
繰入額	2,489	2,004	1,687	1,737	2,045	1,767	4,408	2,467	2,714	2,692
財政調整基金	1,100	980	401	230	630	470	2,732	642	1,066	1,302
(当初予算分)	(1,100)	(980)	(374)	(230)	(630)	(470)	(1,332)	(570)	(600)	(1,100)
残高	8,180	7,494	9,204	13,541	16,324	17,403	16,896	18,166	18,375	19,364
財政調整基金	3,704	3,297	4,396	5,286	5,133	5,701	3,601	4,940	5,177	5,577

※令和2年度までは決算額、令和3年度は見込額（繰越金活用計画額を加算）

